

教育目標（卒業時到達目標）と教育内容のつながり及び評価基準

教育目標（卒業時の到達目標）	教育内容（教科目）				評価方法と 評価基準	総合評価方法 及び評価基準
	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	教科外		
1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解することができる	人間とは・生病老死・真善美=哲学 生活・社会・地域文化・家族=社会学/ 家族論 人間が創る美=生活の中の芸術 心理・基本的欲求=心理学Ⅰ・Ⅱ 生涯発達=教育学 運動・活動=運動 と健康 人の繋がり=人間関係論/外国語 知の統合=論理学/情報科学Ⅰ・Ⅱ	身体の構造と機能=解剖生理学・生化学/栄 養学 日常生活行動・動作の仕組み=リハビリ テーション論 人間の幸福と社会保障=社会福 祉・医療概論・健康支援と保健活動 病気の成り立ちと回復の促進=病理学・疾病 と治療・治療論・微生物と感染症・栄養学・ 薬理学・リハビリテーション論・看護につな がる疾病論 環境・社会との相互作用・健康=公衆衛生学/ 微生物と感染症・栄養学/健康支援と保健活 動 医療・医学の発達と動向=医療概論	人間とは・人間の生活・健康・環境・療養生活・家族=基礎看護学及び 基礎看護学実習、地域・在宅看護論 発達段階各期にある人の特徴と生活=地域・在宅看護論実習、成人・老年・ 小児・母性・精神看護学及び各看護学実習、看護の統合、総合実習 国際看護・グローバル化=国際協力	人間とは・人間の生老病死 =講話(講演会)/人と防災未来センター 人間と環境=コウリノ郷公園見学	各科目の単位 取得条件はシ ラバスに記載 看護学実習の 単位取得条件 は実習評価に 示す	全て必須科目 なので、左記の 条件を全て満 たすこと ＊教科外活動 は出席すべき 時間数に算入 する
2. 科学的根拠に基づいた看護実践に必要な臨床判断ができる	生活活動と健康の成り立ち=運動と 健康 論理的思考=論理学 人間の体と技の理・科学技術の原理・ 看護技術の物理学的理解=物理学 豊かな感性=生活の中の芸術 人との繋がり=外国語・人間関係論 人間とは・感情・倫理・倫理的感性=心 理学Ⅰ・Ⅱ、哲学 知の統合=情報科学Ⅰ・Ⅱ	身体の構造と機能・病気の成り立ちと回復 の促進 =解剖生理学・生化学/病理学・疾病と治療・ 治療論・微生物と感染症・栄養学・薬理学・ リハビリテーション論・看護につながる疾病論	健康・疾病・障害の概念/看護理論/臨床判断モデル・臨床判断能力/観察・フィ ジカルアセスメント/面接技法/看護展開方法の基礎/リフレクションの基礎と実践/看護 技術=基礎看護学及び基礎看護学実習、地域・在宅看護論及び地域・在 宅看護論実習、各看護学及び各看護学実習、総合演習、総合実習 看護者の倫理観/看護研究の基礎=看護学概論Ⅰ・Ⅱ 安全な医療・看護=基礎看護学及び基礎看護学実習、地域・在宅看護論及 び地域・在宅看護論実習、各看護学及び各看護学実習、看護の統合、総 合実習、看護管理と医療安全	看護実践への動機づけ・目的意識の涵養=実 習オリエンテーション 関西看護学生看護研究大会（目標7含む＊） 主体的学習=学習支援		
3. 健康の保持・増進、疾病の予防及び健康の回復に関する看護を、健康状態やその変化に応じて実践することができる	生活活動と健康の成り立ち=運動と 健康 学習支援の方法=教育学 人間の体と技の理・科学技術の原理・ 看護技術の物理学的理解=物理学・論 理学・人間関係論	身体の構造と機能、病気の成り立ちと回復 の促進 =解剖生理学・生化学/病理学・疾病と治療・ 治療論・微生物と感染症・栄養学・薬理学・ リハビリテーション論・看護につながる疾病論 環境・社会との相互作用・健康=公衆衛生学・ 健康支援と保健活動/微生物と感染症・栄養 学 医療・医学の発達と動向=医療概論	健康・疾病・障害の概念/看護理論/臨床判断能力/観察・フィジカルアセスメント/面接 技法/看護展開方法の基礎/リフレクションの基礎と実践/看護技術 =基礎看護 学及び基礎看護学実習 看護者の倫理観=看護学概論Ⅰ・Ⅱ 発達段階・生活状況・健康状態に対応し、かつ健康増進・疾病予防・健康回 復に向けた看護実践・生活の場における看護=地域・在宅看護論及び地 域・在宅看護論実習、各看護学及び各看護学実習 安全な医療・看護の提供=看護管理と医療安全、看護の統合、全実習 災害時の看護と連携=災害看護と国際看護 看護研究の基礎=看護学概論Ⅰ・Ⅱ、総合実習	看護実践への動機づけ・目的意識の涵養=実 習オリエンテーション 関西看護学生看護研究大会（目標7含む＊） 主体的学習=学習支援		
4. 人間の生命と人権の尊重を基盤とする倫理観に基づいた看護実践ができる	豊かな感性=生活の中の芸術 人間とは・感情・倫理・倫理的感性=心 理学Ⅰ・Ⅱ、哲学 信頼関係=人間関係論	生命倫理・医の倫理=医療概論 人権・人と法=関係法規・看護と法	倫理観に基づいた人間関係・信頼関係形成過程=各看護学及び各看護学実 習 信頼関係の形成過程・看護研究の基礎・看護理論・キャリア発達=看護学 概論Ⅰ・Ⅱ、看護の統合、総合実習	日常の関係形成・クラスづくり=ホームルーム・教育キャ ンプ 豊かな人間性・社会性=ボランティア活動・ 体育祭・学校祭		
5. 援助者としての自己を意識したコミュニケーションにより、人間関係を形成することができる	人間の心理・感情=心理学Ⅰ・Ⅱ 信頼関係 =人間関係論	医療福祉における人間関係・協調と協働=医 療概論/社会福祉/健康支援と保健活動	コミュニケーション技術・援助関係=基礎看護学/基礎看護学実習 人間関係・信頼 関係形成=各看護学及び各看護学実習 治療的人間関係=精神看護学 及び精神看護学実習 信頼関係の形成過程・看護研究の基礎・看護理 論=基礎看護学、看護の統合、総合実習	日常の関係形成・クラスづくり=ホームルーム・教育キャ ンプ 人間関係形成力=体育祭・学校祭		
6. 保健医療福祉チームにおける看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と連携・協働することができる	組織と人・チームワーク=人間関係論 ICT活用・医療情報の管理=情報科学 Ⅰ・Ⅱ	医療福祉における人間関係・協調と協働 = 医療概論/社会福祉/健康支援と保健活動 医療安全・関連する法規=関係法規・看護と 法	看護職の役割・責任・チームワーク・連携・協働=各看護学/各看護学実習/地域・ 看護論及び地域・在宅看護論実習 専門職としてのコミュニケーション・看護の組織とチームワーク =看護管理と医療安 全・災害看護と国際協力・看護の統合・総合実習	主体性を育む・チームワーク=教育キャンプ・ホームルーム 運営/委員会活動/自治会活動・部活動/体育 祭・学校祭/自己啓発研修 災害看護=人と 防災未来センター 社会性=ボランティア活動		
7. 変化する社会に対応できる力を身につけるために、自己啓発に努め、看護を探究し続けることができる	論理的思考・文章表現=論理学 人との繋がり=外国語 自己教育力=教育学 社会の動向と人間の生活=社会学 知の統合・ICT活用=情報科学Ⅰ・Ⅱ	社会の動向と医療の役割=医療概論 医療安全・関連する法規=関係法規・看護と 法	問題解決思考、クリティカル・シンキング、リフレクション=基礎看護学及び基礎看護学実習、 地域・在宅看護論及び地域・在宅看護論実習、成人・老年・小児・母性・ 精神看護学及び各看護学実習 看護の探究=各看護学実習 看護研究の基礎、研究の態度=看護学概論Ⅰ・Ⅱ 災害看護・国際援助=災害看護と国際協力	学習の動機づけ=ガイダンス/初年次教育/とも しびの儀/看護師交流会 自己の課題の明 確化=学習支援 自己の発見・研鑽=自己啓 発研修 研究の意義=ケーススタディ発表会 看 護観=看護観シンポジウム・ケーススタディ発表会 社 会性=ボランティア活動 生活安全=SNS、サイバー 犯罪他 健康管理=健康診断 社会人・マナーキャリア支援		